

「標準化学療法不能な高齢者 StageIV 胃癌患者の減量胃切除の意義についての後ろ向き観察研究」

ご協力をお願い

全国規模の前向き比較試験で、75歳以下の StageIV 因子をもつ胃癌患者に対する減量胃切除＋術後化学療法は、化学療法単独に比して予後の改善に寄与しないことが明らかにされています。しかしながら、高齢者の StageIV 胃癌患者は低栄養、貧血を伴うことが多く、化学療法の施行が困難である場合が多いことが現状であります。したがって、減量手術による低栄養、貧血予防効果が有効である可能性もあります。過去に治療を行った化学療法が不可能な高齢の StageIV 胃癌患者の治療成績を評価することで、減量胃切除術の意義について明らかにし、高齢者の StageIV 胃癌患者の治療方針の決定に寄与することができると思われ研究を行います。

### 2. 実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院消化器外科 小松 周平(責任研究医師)他

### 3. 研究の方法

2001年4月から2018年6月に治療した75歳以上の StageIV胃癌患者のうち、標準的な化学療法施行不能で減量胃切除またはバイパス術を施行した65例を対象とし、予後因子について検討を行います。抽出するデータは、以下の通りです。

① 関連情報: Stage、病理所見、画像所見、臨床病理学的因子など  
データベースから(2001年4月から2018年6月)

② 患者基本情報: 性、年齢、罹病期間、身長、体重など

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院消化器外科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

### 4. 患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本揭示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

### 5. 事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 消化器外科

電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308

責任研究医師氏名 小松周平(skomatsu@koto.kpu-m.ac.jp)